

ICT活用連続講座 - 2に参加して

羽曳野市立西浦東小学校 山本 伊津子

府養研ニュースでこの連続講座を知り、2学期にパソコンを活用した市の研究授業が当たってしまった私は「何か発見することができるのでは」と思い、藁をもすがる気持ちで参加しました。

1日目は茨木養護学校の大峠先生と情報教育研究部の大杉先生から「自立活動」が新設された課程や意味、特別支援教育の在り方（最終報告）についてお話して下さり、今の養護学校や養護学級で求められていることが分かりました。またロールプレイでは、少し緊張もしましたが、知らない先生方の中で気持ちもほぐれ、貴重な経験もできました。

2日目はパソコンソフト

「ボードメーカー」を使って、コミュニティカードの制作を体験しました。制作方法は、パソコンで必要な絵のカードを取り込み、それをプリントして、ラミネーターをしてから切り取り、最後にマジックテープを付けると出来あがりです。実習ではそれぞれの先生方のアイデアと、子ども達



への想いがいっぱいの素敵なカードがたくさん出来ました。出来上がったカードを同じ講座の先生方同士で交換するなど、実習は大変もり上がることができました。さらに、大杉先生の奥様が手作りのカードフォルダまで頂いて、感激でした。出席されていた養護学校の先生方からは『学校には「ボードメーカー」があるので、養護学校を利用してください。』という暖かいお言葉も頂きました。日頃から自閉症児とのコミュニケーションでお困りの先生は、一度利用されてはいかがでしょうか？

3日目はK - A B Cの特徴や検査方法など、実物を見ながら解説して頂きました。K - A B Cについて、言葉は聞いたことはあったのですが、実際体験して大変よくわかりました。その後、特殊教育用ソフトウェアの紹介などがありました。午後からは公開discussionで、いろいろな立場からのお話が聞けて参考になりました。

今回の講座は、お盆という3日間でしたが、パソコンやプリンターなどをたくさん用意して頂き、準備はたいへんだったと思います。講師の先生には手をとり足をとりのご指導を受け、研究会の先生方にたいへん感謝しています。ありがとうございました。この講座の成果を生かして、2学期から活動や研究授業も頑張ろうと意欲いっぱいです。

最後に、私ごとですが、「ひかり教室」という養護支援サイトを開設していますので、一度ご覧頂き、ご意見ご感想などお聞かせ下さい。我が校のホームページからもリンクしています。 サイトアドレス <http://www2r.biglobe.ne.jp/~comet-i/>